

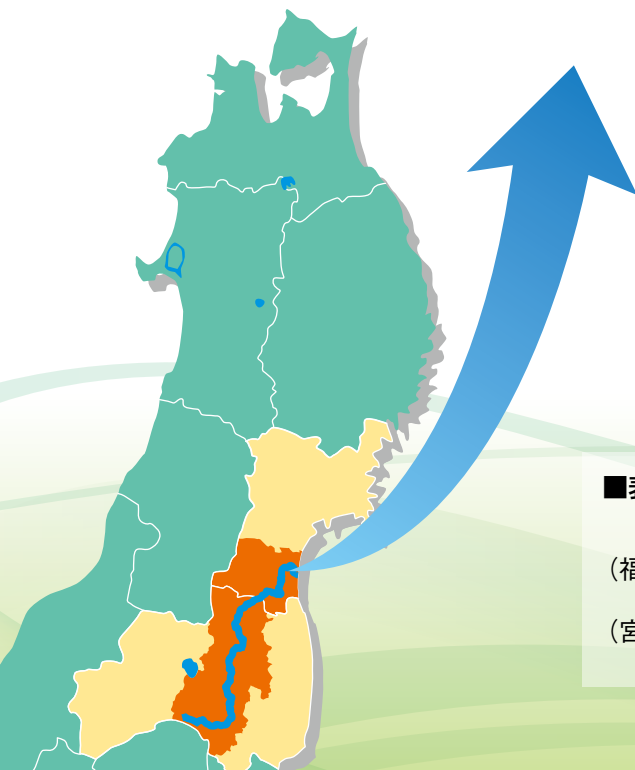
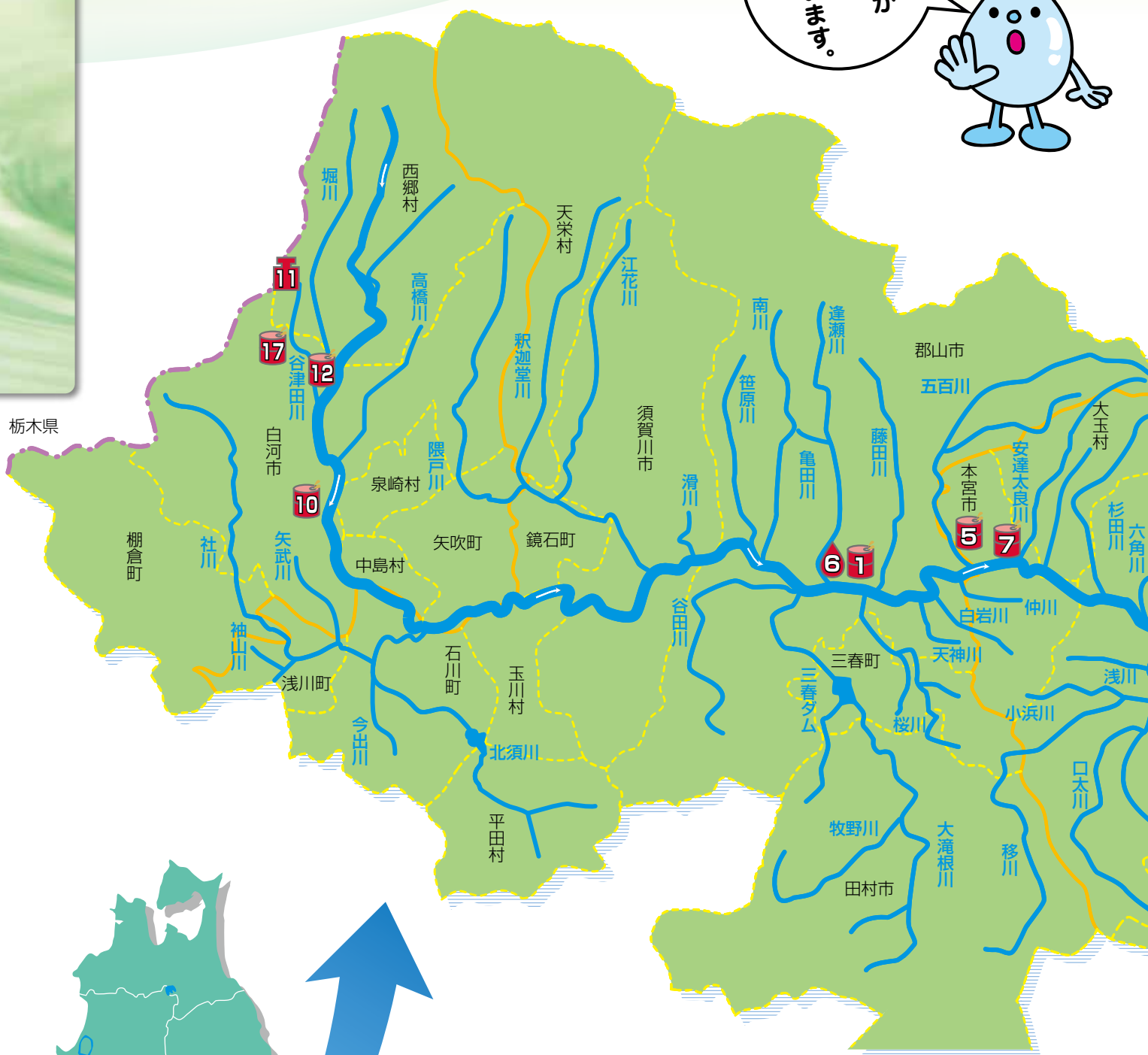
令和4年(2022)

# 阿武隈川水系 水質事故発生マップ

忘れないでください、  
その水が川から来ていること

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

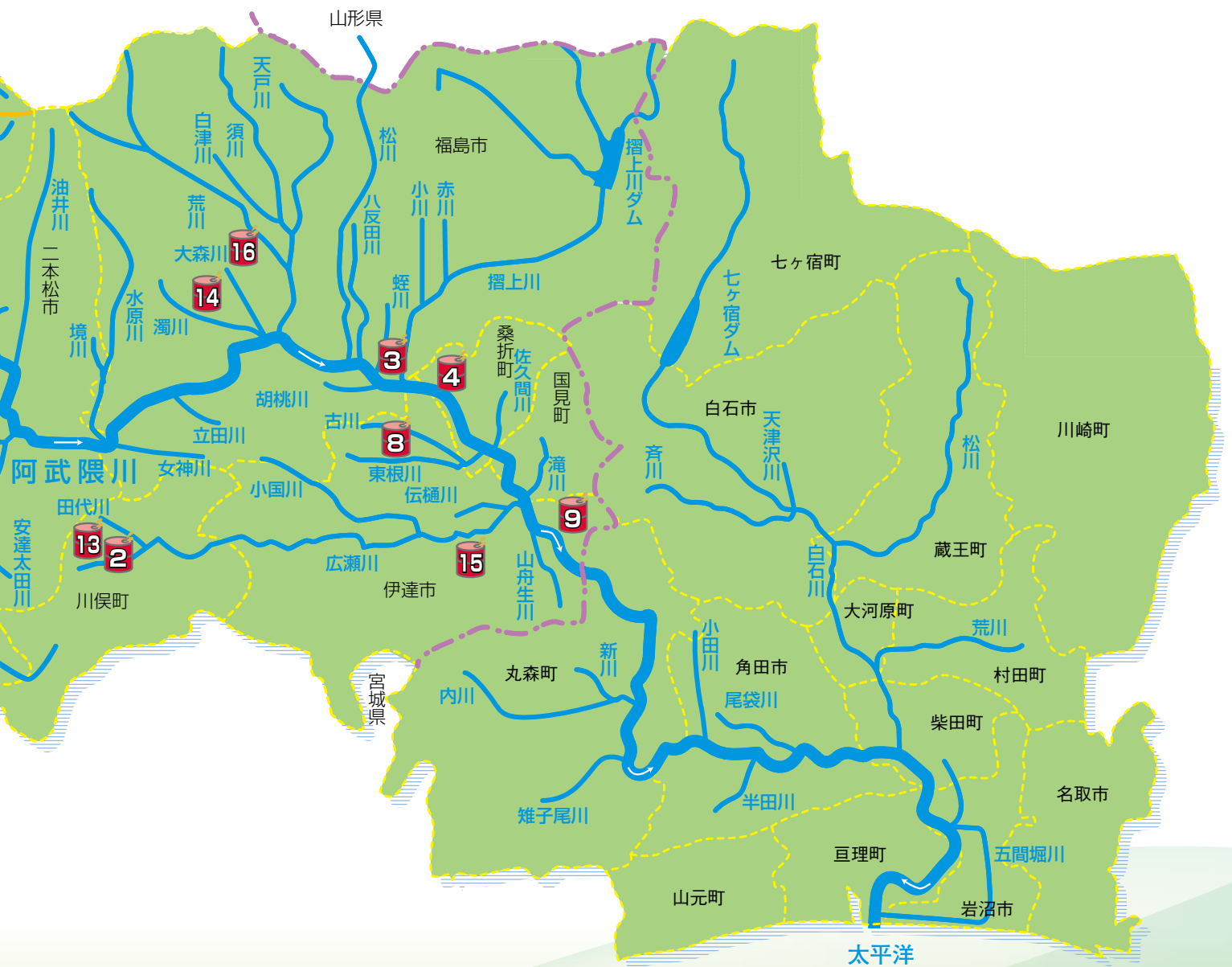
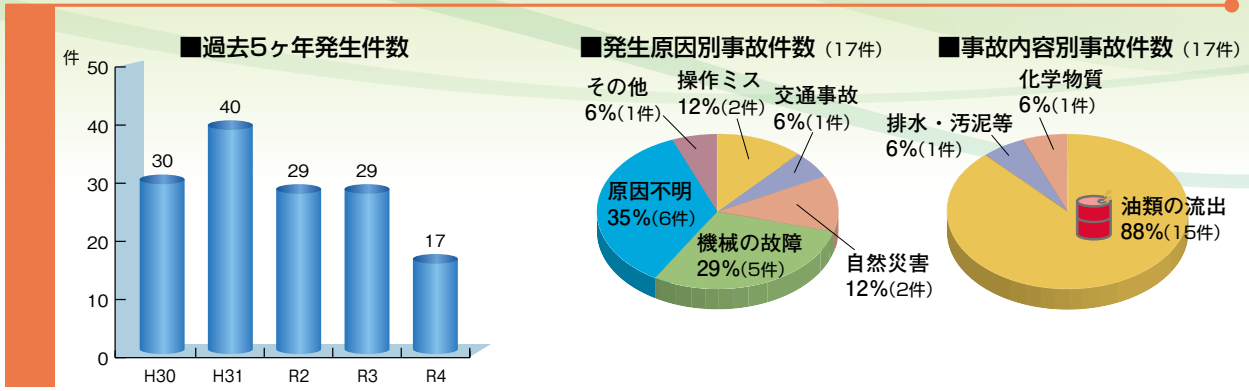
# 阿武隈川水系 水質事故発生マップ



### ■表示の内容

	油類	排水・汚泥等	化学物質	不明	自然現象	
(福島県)						地図上の位置 河川名 発生市町村名
(宮城県)						

	市町村界
	地域界
	県境
	主な河川 及び川の流れ



### 阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会とは…

本協議会は、水質調査や水質汚濁・河川環境の保全に関する資料及び情報の交換、水質事故等の緊急時の情報連絡、その他水質汚濁対策・河川環境保全の推進に必要な連絡調整を目的として昭和46年3月に設立されました。

構成機関は、国土交通省・経済産業省・福島県・宮城県・阿武隈川流域市町村及び消防本部で構成されています。

事故発生河川  
及び事故内容

(抜粋)

## 1 愛宕川に流入する水路 (郡山市)

- ① 油類
- ② 令和4年1月14日
- ③ 郡山市富久山地内からの油膜、油臭確認の連絡が一般住民からあった。  
郡山市で流出先である愛宕川の石鼻橋付近(阿武隈川合流点まで200m)にオイルフェンスを設置し、吸着マットでオイル回収作業の実施。18:14設置完了。流出源、流出量はともに不明。灯油らしき油臭あり。阿武隈川本川への流入は確認されていない。

## 2 赤坂川に流入する水路 (川俣町)

- ① 油類
- ② 令和4年1月31日
- ③ 伊達郡川俣町鶴沢細越地内の赤坂川に油膜を発見したとのこと。伊達地方消防と川俣町で現地確認したところ、油膜を確認。臭いについては特に確認できなかった。油膜の確認した箇所の下流の五百田新橋にオイルフェンスを18:27に設置。吸着マットで回収を実施。

## 3 蛭川に流入する水路 (福島市)

- ① 油類
- ② 令和4年2月3日
- ③ 福島市瀬上地内での蛭川にて油のようなものが流れていると通報があった。消防が確認したところ宮代字宝田前地内の民家の下水管より油類の流出が確認された。現在、県北地方振興局にて蛭川にオイルフェンスを設置、吸着マットにて油の回収を実施。また、福島河川国道事務所伏黒出張所にて下流の境界樋管の阿武隈川合流前の蛭川にオイルフェンス、吸着マットを設置済み。

## 4 佐久間川に流入する水路 (桑折町)

- ① 油類
- ② 令和4年2月9日
- ③ 桑折町大字上郡字根岸前地内で油膜のようなものがあると通報があった。消防、桑折町、県振興局が確認したところ、桑折町大字上郡字根岸前10-1にあるホームタンクより、灯油が流出しているのを確認された。消防で発生源から直下流の水路部に土嚢を積んで吸着マットを敷き、せき止めている状況。発生源はコックを閉めたため、今後の流出拡大はない。また、下流の佐久間川まで油膜は確認できない。

## 5 瀬戸川に流入する水路 (本宮市)

- ① 油類
- ② 令和4年2月23日
- ③ 本宮市青田字東万風地内から用水路の方に油流出したとの連絡が安達消防本部からあった。現地確認の結果、本宮市青田字東万風46-2の工場内の重油を運ぶ配管が損傷していて、そこから、場内に約200L~300L流れだし、一部用水路に流出し、近くを流れる瀬戸川に流出したもようで油膜、油臭を確認した。そこで、安達消防で用水路から合流した後の瀬戸川の山田橋下流に1箇所、瀬戸川と阿武隈川の合流点直上流にオイルフェンスを設置し、吸着マットを設置して油回収をしている。流出元は元栓を閉めたため、今後の流出拡大は抑えている状況。

## 6 阿武隈川に流入する水路 (郡山市)

- ① 排水・汚泥等
- ② 令和4年3月3日
- ③ 古坦樋管上流の郡山食肉流通センター内の汚泥を沈殿させる装置が故障したため、濁水が流出した。原因者側で沈殿槽に凝集剤を投入して汚泥を沈殿してその上澄み液を流すようにして対応。拡大のおそれはないとのこと。今後も排水処理施設が正常に稼働するまで沈殿槽に凝集剤を添加して対応する予定。

## 7 安達太良川に流入する水路 (本宮市)

- ① 油類
- ② 令和4年3月17日
- ③ 本宮市本宮欠下地内にあるホームタンクより、最大198Lの全量の灯油が流出しているのを発見した。消防で発生源から直下流の水路部に吸着マットを60枚敷き詰めて、せき止めている状況。発生源は全量流出したため、今後の流出拡大はない。また、下流の安達太良川では油膜は確認できない。

## 8 古川に流入する水路 (伊達市)

- ① 油類
- ② 令和4年3月17日
- ③ 消防が確認したところ、伊達市保原町弥生町地内にある保原小学校付近の側溝に灯油が流出しているのが発見した。消防で発生源から直下流の古川に吸着マット、オイルフェンスを設置して、せき止めている状況。古川には一部流出した可能性がある。下流の阿武隈川では油膜等は確認できない。

## 9 古川に流入する水路 (伊達市)

- ① 油類
- ② 令和4年3月17日
- ③ 消防が確認したところ、伊達市梁川町五十沢小坂167宅より灯油が流出しているのを発見した。地震の影響でホームタンクが傾き、最大約200Lの灯油が近くの側溝に流出した。消防で発生源から直下流の側溝に吸着マット、ACライトにより油の回収を実施。側溝部に水の流れがなく側溝部で油の回収済み。下流の阿武隈川では油膜等は確認できない。

## 10 阿武隈川に流入する水路（白河市）

- ① 油類
- ② 令和4年5月22日
- ③ 白河市内のユリ栽培農家ハウス内で送油用配管が損傷、継手から推定量約1000Lの重油Aが暗渠より接続する阿武隈川へ一部流出した。消防が流出元と用水路に吸着マットを設置、原因者が元栓を締め、暗渠管出口を閉塞、その後、県が本川樋管で、市が発生源100m下流の農業用ゲートでマットとオイルフェンスを各々設置、下流の阿武隈川では油膜は確認できない。

## 11 谷津田川に流入する水路（西郷村）

- ① 化学物質
- ② 令和4年5月30日
- ③ 西郷村の「半導体工場」敷地内で輸送トラックのフレームが破断し、オイル系統管から塩化アルミニウム約4,661m3が村道側溝と接続する支川谷津田川へ一部流出した。県で流出抑制のため同川合流部にオイルフェンスと吸着マットを設置、村でも水質測定を行った（ph6～7）。原因者が発生箇所で砂等を散布し、路面清掃（水まき+バキューム吸引）を実施、その結果、谷津田川で一部白濁色がみられるが、阿武隈川本川では確認されていない。

## 12 谷津田川に流入する水路（白河市）

- ① 油類
- ② 令和4年7月14日
- ③ 白河市中田29-1 東北電力(株)白河営業所玄関前の側溝で油臭がするとの通報あり、警察・消防・県で同側溝内に滞留した油膜を発見、吸着マットを設置。一次支川の谷津田川と合流先の阿武隈川に微量が流出、その後下流へでの油膜確認や新たな油流出は無い。

## 13 赤坂川に流入する水路（川俣町）

- ① 油類
- ② 令和4年8月10日
- ③ 左記地先に流れる同川に油膜見えると住民から町に通報あり。消防で同下流2箇所にオイルフェンスを設置（流出油も回収済）消防と警察で原因者特定、事業者敷地で大型車両10台の下部洗浄中にグリース油と微量のエンジンオイルが流出したもの。発生元側溝の油も吸着マットで回収済み。オイルフェンス下流に油流出なし。

## 14 濁川に流入する水路（福島市）

- ① 油類
- ② 令和4年9月1日
- ③ 左記箇所の水路から油らしきものが流出していると、市から通報があった。消防で吸着マットによる吸着作業を行い油分を回収済。県で発生箇所から濁川下流まで巡視、新たな油膜や油流出は見られない。原因者（排出源）は不明。

## 15 広瀬川に流入する水路（伊達市）

- ① 油類
- ② 令和4年9月5日
- ③ 左記地先付近の同川へ油が流出していると、県から通報あり。同県発注の河道掘削工事のバックホウ（0.1m<sup>3</sup>）が倒れ、同川へ軽油とエンジンオイルが流出したもの。事故現場（消防）と同川約2km下流（消防と県）でオイルフェンス（前者は吸着マットも）設置、その後、管理者の県と国（出張所）で河川巡視を行ったが、新たな油膜や油流出は見られなかった。

## 16 阿武隈川支川大森川に合流する馬川へ接続する側溝（福島市）

- ① 油類
- ② 令和4年12月21日
- ③ 左記地内の市道上で衝突事故が発生し、車両から軽油（容量より最大100L）が路上側溝へ流出、接続する馬川で油膜を確認したと福島市より連絡あり。消防で吸着マットにより飛散した油分を除去、その後、各々の管理者にて河川巡視を行った結果、「馬川」（市）「大森川」（県）「阿武隈川」（国）とも油膜や油臭は確認されなかった。

## 17 阿武隈川支川谷津田川に接続する側溝（白河市）

- ① 油類
- ② 令和4年12月28日
- ③ 左記地内の排水溝から灯油のようなが流出していると福島県より連絡あり。原因はホームタンクから小分け作業中に溢れさせ、自宅前の排水溝から灯油が流出、市で排水溝内の汚泥を回収、管理者の県にて合流部にオイルフェンスを設置、その後巡視を行い、河川内において油臭等の異常は確認されなかった。

### ■表示の内容

油類 排水・汚泥等 化学物質 不明 自然現象  
(福島県) 1 1 1 1 1

- ①……水質事故の種類
- ②……発生年月日
- ③……水質事故の概要

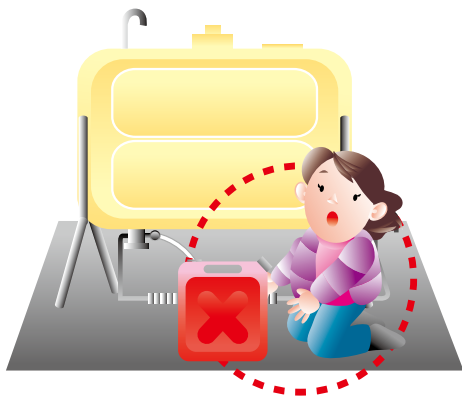
# タンクからの 油流出事故にご注意!

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流出する事故が増えています。その多くは、うっかりミスや故障などが原因です。給油中は目を離さず、また配管などの定期点検に努めましょう。

## ご家庭のホームタンクは大丈夫?

### 流出事故を防ぐための心掛け

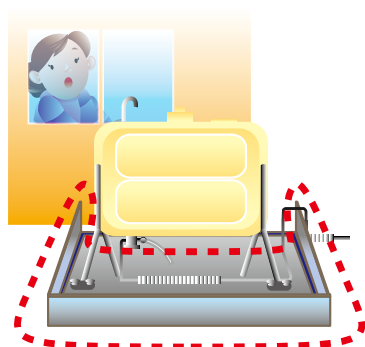
① その場を離れない



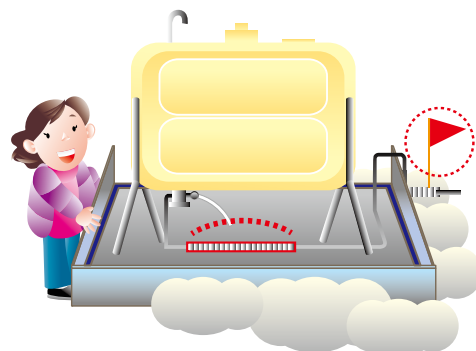
② 定期点検を怠らない



③ 防油堤設置で安心



④ 配管場所には目印を



# ホームタンクからの 油流出事故にご注意!



油の流出などの水質事故により設置したオイルフェンスや油吸着マットなどの設置経費は、原因者の負担となります。

## 💧 水質事故とは

川に油や化学薬品などが流れ出ると、水が臭くなったり、魚が死んだり、水が使えなくなったりします。また油の量が多いと火災のおそれもあります。

## 💧 水質事故の傾向

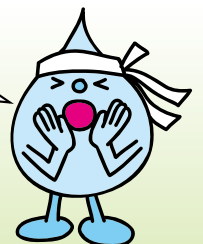
事業所では施設の劣化、保管状況の点検不備、機械類の操作ミスによる油等の流出があります。一般家庭では暖房用灯油ホームタンクの栓の閉め忘れや、交通事故等を原因として水質事故が発生しています。

不注意から水質事故になることが多いので、日頃の点検や作業手順の確認をして水質事故を防ぎましょう。

発生もしくは  
発見したら

# 水質事故

被害を  
最小限に



直ちに仙台河川国道事務所・福島河川国道事務所や宮城県(土木事務所)・福島県(地方振興局)・市町村・消防署・警察署へご連絡ください。



# 川へのやさしさは、 人へのやさしさです。


あなたの捨てた水を、下流の人々が利用しています。

## あなたは、汚していませんか？ 大切な水を…。

暮らしの中で出される「生活排水」を、魚の棲めるきれいな水にするためには、これだけの水が必要です。あなたは、自然に大きな負荷をかけていませんか。

 <p><b>味噌汁</b> (200ml) <b>1,500ℓ必要</b> (浴槽5杯分)</p>	 <p><b>お米のとぎ汁</b> (約2ℓ) <b>1,200ℓ必要</b> (浴槽4杯分)</p>	 <p><b>牛乳</b> (200ml) <b>3,000ℓ必要</b> (浴槽10杯分)</p>	 <p><b>日本酒</b> (1合・180ml) <b>7,200ℓ必要</b> (浴槽24杯分)</p>	 <p>そして <b>使用済み天ぷら油</b> (500ml) <b>99,000ℓ必要</b> (浴槽330杯分)</p>
---	--	---	---	---

私たちは、知らない間に川を汚しています。家庭から出る生活排水は、污水处理施設(下水道・集落排水・合併浄化槽)へ流しましょう。

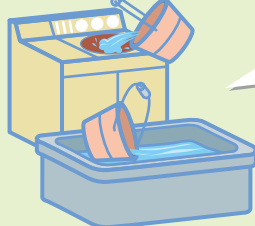


**料理に使った揚げ油を流すのは、汚染の原因です。**  
油を分解するためには、大量の水と時間が必要です。

**対策** 油はゲル状に固め、ゴミと一緒に捨てましょう。

**味噌汁、米のとぎ汁も汚染の原因です。**  
あたりまえのように、排水口に捨てていませんか？

**対策** 食べ残しをしないよう心がけましょう。また、無洗米を使うと、とぎ汁が出ません。



**節水のため、お風呂の残り湯を使いましょう。**  
お湯で洗うと洗浄力もアップします。また、洗剤はリンを含まないものを使いましょう。

**ポイント** 汚れていないお湯は、捨てずに沸かして2度使いましょう。

**排水口に古いストッキング、細かいゴミも取り除きます。**  
ちょっとした工夫が、美しい水環境を守ります。

**ポイント** 下水に流れ込んだゴミは、ネズミ等の発生を促す原因となり、家庭環境への影響も懸念されます。

**図画部門 特選**

令和4年度

**児童図画コンクール**

**ポスター部門 特選**

<p><b>上流部</b> [福島市] 五十嵐葵さん</p> 	<p><b>上流部</b> [須賀川市] 遠藤花純さん</p> 
<p><b>下流部</b> [岩沼市] 津田花帆さん</p> 	<p><b>下流部</b> [白石市] 木須心都音さん</p> 

## 阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会

上流支局事務局

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所  
〒960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36  
TEL (024) 546-4331

下流支局事務局

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所  
〒982-8566 宮城県仙台市太白区あすと長町四丁目1-60  
TEL (022) 248-4131